

■山田忠雄 国語学者、革命的な辞書編纂者。反骨精神に溢れるユニークな「新明解国語辞典」は、多くのファンを得た。

やまだただお

民本主義・1916= 著名な国語学者山田孝雄の長男に生まれる。

一族の多くが国文学等の世界で一流になるような家系に育つ。

原敬首相暗殺1921= 5歳：

治安維持法・1925= 9歳：

満州事変・1931=15歳：

帝人疑獄事件1934=18歳：

二二六事件・1936=20歳：東京帝国大学文学部国文科に入学。見坊豪紀と同期であったが、地味で孤独な存在であった。

日中戦争始・1937=21歳：

第二次大戦始1939=23歳：卒業後、岩手県師範学校に赴任。

大政翼賛会・1940=24歳：大学時代交流なかった見坊豪紀から、突然、新しい辞書の編纂に誘われ、

日米開戦・1941=25歳：陸軍予科士官学校に転任。「明解国語辞典」の命名者になるも、助手のように扱われて、

創価学会検挙1943=27歳：「明解国語辞典」が刊行される。

敗戦・1945=29歳：敗戦。

新憲法公布・1946=30歳：日本大学法文学部助教授に就任。

三大事件・1949=33歳：日本大学文学部教授に就任。「明解国語辞典」の改訂に取り組み始めた見坊豪紀が研究室に來訪、「女」の語  
釈の改良を検討するなど、今度は共同編纂者として、金田一春彦を加えた三者でとりまとめ、

独立回復・1951=35歳：

メデー事件・1952=36歳：\*「明解国語辞典」(改訂版)が刊行されるや、辞書界を席卷。

TV放送始・1953=37歳：「昭和校註 竹取物語」はじめ、古典文学研究の第一人者で、学界では畏怖されるほどであった。

本来なら、古語辞典の編纂者にふさわしい存在であった。

55年体制始・1955=39歳：編修主幹を務めた「音訓両引き国漢辞典」が刊行される。

辞書編纂に時間がとられて研究が疎かになってしまうことに耐えられず、

インスタントラーメン・1958=42歳：日本大学文理学部教授に就任するも、

美智子妃・1959=43歳：日本大学文理学部教授を退職。以後、「明解国語辞典」の印税を背景に、研究に専念。

安保闘争・1960=44歳：

タイタイ病始・1961=45歳：

この間もなお、三者に柴田武を加えて、定期的な会議を開いていたが、

辞書史研究をライフワークとし、

美濃部都知事1967=51歳：「三代の辞書 国語辞書百年小史」を出版するなど、自らが辞書界の体質を憂えていたところ、  
見坊が用例収集に専念して、「明解国語辞典」第三版出版の見通しが立たなくなったことから、

全共闘ビーク・1969=53歳：倉持保男を編纂に誘い、他に諮らずに一人で理想とする「新明解国語辞典」の編纂を始め、

大阪万博・1970=54歳：

ドルショック・1971=55歳：「暮しの手帖」が特集記事「国語の辞書をテストする」を組み、ほとんどの辞書の用語説明の文が相互に似て  
おり、その元の辞書が「明解国語辞典」であることなど、辞書界の体質を告発、激震が走る。

日中国交回復1972=56歳：\*「新明解国語辞典」(初版)刊行、まさにタイミングを得て大ヒットとなる一方、見坊を見返すようなその序  
文をめぐり、見坊と決別するに至る。

石油ショック1973=57歳：

角栄金脈辞任1974=58歳：「新明解国語辞典」(第2版)刊行。三省堂が会社更生法適用申請。

ケアンズ事件1975=59歳：この年、「朝日ジャーナル」誌上で大野晋から批判されるなど、主として有識者からの逆風が吹き始め、

田中角栄逮捕1976=60歳：三省堂の更生計画案が承認され、再建へ。

革新大敗北・1979=63歳：

三省堂が暴力団から脅される事件が起きる。\*小学館が5年にわたって刊行し、見坊も携わっていた最大の「  
日本国語大辞典」(初版)への批判を含む大著「近代国語辞書の歩み」を上梓。山田カラーが最も強く出た「新明  
解国語辞典」(第3版)刊行。

中曽根内閣・1982=66歳：

見坊と決別後も、三省堂の都合もあって、編纂者名簿にはなお見坊や金田一の名が記載されていたが、

朝日新聞紙上で、偏見・差別的な用語説明を叩かれ、

あまりにも曲の強い解釈に、一般人からも、特定の見出しには抗議も殺到するようになるが、金田一春彦の  
意見にも耳を貸さずに、自我を貫き通し、「辞書は文明批評である」という信念のもと、

リクルート事件・1988=72歳：

昭和天皇没・1989=73歳：さらに過激な「新明解国語辞典」(第4版)刊行、編纂者名簿から見坊豪紀・金田一春彦の名が消えるも、用例  
の変化から、見坊を良友と見るようになっていたことが伺え、実際、体調不良の見坊を気遣ってもいた。

見坊豪紀の「三省堂国語辞典」の年間発行部数を抜き、累計1700万部という圧倒的売上げを記録するなど、

バブル崩壊・1992=76歳：「文芸春秋」に赤瀬川原平の「フシギなフシギな辞書の世界」が掲載されるなど、ブームになるなか、

55年体制終・1993=77歳：喜寿の祝宴で、列席者に「寿蔵録」を配る。

没した。赤瀬川原平「新解さんの謎」が発売された。

佐々木健一「辞書になった男」、